

- ・ 7年間運転を行った実証施設について、各部材の外観目視、写真撮影、板厚測定、腐食状況の調査等を実施し、経年劣化状況を把握するとともに、耐用年数延伸の可能性等について検討を実施。
- ・ 消化槽において無数の孔食（直径1mm程度以下）は見られたものの、設備の強度に影響するような劣化は確認されなかった。
- ・ 図面上の厚さや板厚測定の結果から算出される理論上の値であり、必ず同様の結果が保証されるものではないものの、いずれの設備についても、設定耐用年数20年からさらに数年程度延伸できる可能性が示唆された